

『千葉観光課 マスコットキャラ』

登場人物

田宮 (Tamiya) (20代): 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

ボブ (Bob) (30代): 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

その他の外国人観光客 (モブキャラ)。

あらすじ

千葉県には「ちはなちゃん」というマスコットキャラがいる。愛嬌はあるが、どうもインパクトが薄い。県からの依頼で、新しいマスコットキャラを作ることになった。田宮は「一から新しく作るのではなく、デザインを変えよう」と提案。ボブは「ならばいっそ、メカニックにしてみよう」と提案。果たして、「ちはなち

やん」はどう変わるのか？そして、外国人観光客にウケるのか？

シーンⅠ：観光課のオフィス

（オフィスの雑音。キーボードのタイピング音。電話の鳴る音。）

田宮：（デスクに座り、ため息をつきながら）
また新しい仕事か…。今回は「ちはなちゃん」
をリニューアルしろって、難しいな。

（ボブ、明るい表情で入室。）

ボブ：（元気に）田宮さん、おはよう！今日は
何か面白いことがある？

田宮：（デスクから顔を上げて）ボブさん、お
はよう。実は、ちはなちゃんのデザインを変
えるように言われてるんだけど、どうすれば
いいか全然わからなくて。

ボブ…(椅子に座りながら)うーん、それは面白そうだね！新しいキャラを作るのもいいけど、リニューアルするのも悪くない。どう変えたい？

田宮…(考え込んで、書類を見つめながら)そうだなあ…。一から作るのは時間がかかりそうだし、デザインを変える方が現実的かも。でも、どう変えればいいのか…。

ボブ…(立ち上がったって、笑顔で)ならば、メカニックにしてみるのはどう？ロボットのちはなちゃんなんてどう？

田宮…(驚いて立ち上がり)ロボット！？そんなの受け入れてもらえるのかな…。

シーン 2: デザイン会議

(ホワイトボードにマーカーで書く音。紙を

めくる音。)

田宮：(ホワイトボードの前に立ち、イラストを指しながら)さて、ボブさんのアイデアを元にデザインを考えてみました。これがロボット版のちはなちゃんです。

ボブ：(イラストに近づいて、興奮して)お！すごいじゃないか！これなら注目間違いなしだよ！

田宮：(ペンを持ちながら)うん、そうだといいんだけど。ところで、これはどうかな？少し未来的な感じにしてみたんだ。

ボブ：(ペンを受け取り、ホワイトボードに書き足しながら)いいね！でも、もっと派手にしよう！ライトアップとか、動くギミックをつけるとか！

田宮…(笑って、ペンを受け取り)ポブさん、
本当に面白いことが好きだね。でも、確かに
目立つことは大事だ。

シーン…発表会

(司会者の声、カメラのシャッター音、人々
のざわめき。)

司会者…皆さん、お待たせしました！新しい
「ちはなちゃん」のお披露目です！

(ドラムロール。幕が上がる音。)

田宮…(緊張して観客を見渡しながら)どうだ
ろう…受け入れてもらえるかな。

ポブ…(肩を叩いて、微笑んで)大丈夫、大丈
夫！自信を持って！

観客…(驚いて、指差しながら)おお！これ

はすごい！ロボットのちはなちゃんだ！

観客 2：（笑いながら、スマホを構えて）面白
いね！写真を撮って SNS に上げよう！

シーン 4：外国人観光客の反応

（観光地の雑音。外国語が飛び交う。）

外国人観光客 1：（英語で、指差しながら）Look
at that! A robot mascot! That's so cool!

外国人観光客 2：（英語で、スマホを取り出し
て）Yeah, let's take a picture with it!

田宮：（ほっとして、ボブに向かって）良かった
：受け入れてもらえたみたいだ。

ボブ：（にっこりして、田宮の肩を叩いて）だ
から言ったでしょ？面白ければそれでいいん
だよ！

田宮…(笑って、頷きながら) 本当にそうだね。
ありがとう、ボブさん。

シーン ♪ エンディング

(オフィスの雑音。)

田宮…(元気にデスクに座りながら) 次はどんな面白いことをしようか!

ボブ…(笑いながら、デスクに肘をついて) そうだね! 次のアイデアも考えなきゃ!

ナレーション…こうして、田宮とボブのコンビは次々と新しいアイデアで千葉県の観光を盛り上げていくのでした。果たして、次はどんな面白いことが待っているのか…それはまた別のお話。

(明るい音楽がフェードインし、フェードアウト)

ウト。
)